

協 運 輸 へ ル ス ケ ア ナ ビ 活 用  
全 国 10 協 会 で セ ミ ナ ー

全日本トラック協会は、ドライバーの定期健康診断結果を踏まえて健康起因事故を防止するため、独自開発の「運輸ヘルスケアナビシステム」を活用した健康起因事故対策のポイントを解説するセミナーを23日を皮切りに全国10トラック協会で開催する。

セミナーは「運輸ヘルスケアナビシステムを活用した定期健康診断のフォローアップ及び睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策セミナー」とし、健康起因事故を防止するためにドライバーの健康状態の把握から説明する。セミナーの講師を務めるのは、運輸ヘルスケアナビシステムの開発と同システムを活用後のフォローアップ、サポート事業を手掛けるNPO法人ヘルスケアネットワーク(OCHEIS)の作本貞子副理事長と同保健師の黒田悦子氏。

運輸ヘルスケアナビを活用した定期健康診断のフォローアップセミナー

1月23日	北海道トラック協会
1月29日	鹿児島県トラック協会
2月5日	茨城県トラック協会
2月6日	埼玉県トラック協会
2月8日	和歌山県トラック協会
2月13日	大分県トラック協会
2月22日	兵庫県トラック協会
3月6日	岩手県トラック協会
3月8日	富山県トラック協会
3月12日	徳島県トラック協会

ヘルスケアネットワーク(OCHEIS)の作本貞子副理事長と同保健師の黒田悦子氏。SASや脳疾患などが運転中に発症し

重大事故を惹起して社会問題となっているが、防止にはドライバーの定期健康診断が重要です。しかし事業者単位ではこの健康診断結果を有効活用できず、問題のあるドライバーに対する指導が不十分のままドライバーが事故の当事者になる可能性を抑えられていないのが現状だ。

運輸ヘルスケアナビシステムでは、定期健康診断の結果の見える化を図り、この情報をもとに、事業者の健康後のフォローアップを支援する。セミナーでは同時にSAS対策についても説明する。問い合わせ、参加申し込みはOCHEIS。☎06(6965)3666。